

神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond

森山未来(AiRK)キュレーションのオープニングイベント開催

川俣正作品を舞台に、フランソワ・シェニョー×磨赤児が「秘儀 – GOLD SHOWER」を上演

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区 社長:寺西公彦)は、2024年8月24日(土)から11月24日(日)まで神戸・六甲山上を舞台に開催する「神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond」のオープニングイベントとして、2024年8月24日(土)・25日(日)に、招待アーティスト「Artist in Residence KOBE (AiRK)」の運営メンバーである森山未来キュレーションのパフォーマンス作品「Kobe Rokko Meets Art × Artist in Residence KOBE 一山頂でのオープニングパフォーマンスー《秘儀 – GOLD SHOWER》」を上演します。

同作品は、フランスを代表する気鋭のダンサー、フランソワ・シェニョーと、生きる伝説の舞踏家、磨赤児(まろあかじ)によって 2020 年に制作された「GOLD SHOWER」を、神戸六甲ミーツ・アートのためアレンジしたスペシャルパフォーマンスとなります。新池(トレイルエリア)に展示される川俣正による作品《六甲の浮橋とテラス》を舞台に上演します。音楽にはパーカッションのスティーヴ・エトウ、鳳笙(ほうしょう)の井原季子が参加します。

【開催概要】

名称 : Kobe Rokko Meets Art × Artist in Residence KOBE
一山頂でのオープニングパフォーマンスー《秘儀 – GOLD SHOWER》

開催日 : 2024年8月24日(土)、8月25日(日)

会場 : 新池(トレイルエリア)

アクセス : 六甲山上バス「ミュージアム前」停留所から徒歩約1分

※その他、公演時間、チケット料金等につきましては後日、HP や SNS でお知らせいたします。



フランソワ・シェニョー×磨赤児《ゴールドシャワー》
2021年上演、世田谷パブリックシアター 撮影:川島浩之

◆神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond に関するお問い合わせ先

六甲山観光株式会社 / 神戸六甲ミーツ・アート事務局

TEL: 078-891-0048 (平日 9:00~18:00) FAX: 078-891-1011

HP: <https://rokkomeetsart.jp/>



公式 HP

《神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond 開催概要》

【会期】 2024年8月24日(土)～11月24日(日)

【会場】 ROKKO 森の音ミュージアム、六甲高山植物園、トレイルエリア、風の教会エリア、六甲ガーデンテラスエリア、六甲ケーブル(六甲ケーブル下駅・山上駅・天覧台)、六甲有馬ロープウェイ六甲山頂駅、兵庫県立六甲山ビジターセンター(記念碑台)、六甲山サイレンスリゾート(旧六甲山ホテル)

※ROKKO 森の音ミュージアム、六甲高山植物園、トレイルエリア(一部会場)、風の教会エリアは有料会場

関連イベント[ひかりの森～夜の芸術散歩～]

【会期】 2024年9月21日(土)～11月24日(日)の土日祝の夜間

【会場】 ROKKO 森の音ミュージアム、六甲高山植物園

【料金】 大人＝中学生以上、小人＝4歳～小学生 3歳以下無料

種類	販売期間	ナイトパス付鑑賞パスポート		鑑賞パスポート		ナイトパス	
		大人	小人	大人	小人	大人	小人
前売	6月1日～8月23日	3,800円	1,500円	2,800円	1,000円	1,800円	800円
Web割	8月24日～11月24日	3,900円	1,600円	2,900円	1,100円	1,850円	900円
当日	8月24日～11月24日	4,000円	1,700円	3,000円	1,200円	1,900円	950円
対象会場	神戸六甲ミーツ・アート	○		○		—	
	ひかりの森～夜の芸術散歩～	○		—		○	

※上記に大人+800円、小人+400円で「シダレミュージアム」に割引入場できるセット券も販売。

【主催】 六甲山観光株式会社、阪神電気鉄道株式会社

【特別助成・協賛】 神戸市、阪急阪神ホールディングス株式会社

【総合ディレクター】 高見澤清隆

■2024年の取り組みの4つの柱

神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond では、昨年に引き続き以下の取り組みに注力します。

出展アーティストの充実

過去最多となる招待・公募を合わせた60組以上のアーティストの参加を予定しています。国内外から幅広い視点で活動しているアーティストの作品をご紹介します。また、公募作品の募集条件を向上し、より優れた作品を募集・展示します。



川俣正《六甲の浮き橋とテラス》

芸術祭の象徴となる拠点エリアの充実

2023年にROKKO 森の音ミュージアムに新設した野外アートゾーンをさらに拡充し、会期外でも四季を通じてアート作品を鑑賞できる場を充実させます。



トレイルエリア

トレイルエリアの充実

山中の散策路沿いに作品を展示するトレイルエリアをさらに広げ、アート鑑賞の楽しさとともに六甲山の新たな魅力を発掘します。

子どもたちがアートに触れ合える機会の創出

ワークショップ等を通じて自然の中で子どもたちが現代アートに触れられる機会を増やし、次世代の文化芸術の担い手や支え手を育てていきます。



子どもプログラム